

校区青少協合同イベント支援

熊本市青少年健全育成連絡協議会は、各校区青少協の連携強化を目的に活動しています。そのきっかけ作りとして、合同イベントを開催した校区に対し、事業費の一部を支援しています。

募集要項

- 支援対象** ▶ 2校区以上の青少協が連携して開催するイベント(新規で申請した合同イベントに限ります)
- 支援内容** ▶ 事業費の2分の1(最大10万円)を補助
- 選考** ▶ 市青少協の会長及び副会長で協議し、決定します。

お申し込み・お問い合わせは
市青少協事務局
 (熊本市生涯学習課)まで

令和8年4月から支援上限額が
10万円に引き上げられます!

イベント例 いずれも複数校区での開催に限ります。

- スポーツ大会
- 地域安全教室・防犯防災訓練
- 野外活動・キャンプ
- 地域探検・史跡めぐり
- 音楽・ダンス交流会 など



校区青少年健全育成協議会運営費補助金

熊本市では、各小学校区の校区青少年健全育成協議会に対し、運営費の補助を行っています。この補助金を有効に活用し、各校区で青少年の健全育成に積極的に取り組んでいきましょう。

補助金の概要

- 補助対象** ▶ 熊本市内の各小学校区の校区青少年健全育成協議会
- 対象経費** ▶ 青少年の健全な保護育成に関する地域活動運営経費
- 補助金額** ▶ 校区内の世帯数に応じて定める金額と補助対象経費とを比較し、いずれか低い方の額
- 申請方法** ▶ 申請書類一式を各区総務企画課に提出

制度に関するお問い合わせは
熊本市生涯学習課

補助金申請手続きに関するお問い合わせは
各区総務企画課まで

生涯学習課	328-2736
中央区総務企画課	328-2610
東区総務企画課	367-9121
西区総務企画課	329-1142
南区総務企画課	357-4112
北区総務企画課	272-1110

名義後援・共催を希望する方へ

熊本市青少年健全育成連絡協議会へ名義後援や共催を希望する場合は、熊本市青少協事務局までお問い合わせください。

熊本市青少年健全育成連絡協議会事務局

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号(熊本市文化市民局市民生活部生涯学習課内)

☎ 096-328-2736 FAX 096-351-2030 [E-mail] shogaigakushu@city.kumamoto.lg.jp



市青少協だより

発行 熊本市青少年健全育成連絡協議会 会長 新道 欣也
 熊本市中央区手取本町1-1(熊本市生涯学習課内) 電話(096)328-2736
 メール shogaigakushu@city.kumamoto.lg.jp

- 〈おもな内容〉
- P1. 校区青少協の取組(秋津・龍田)
 - P2~3. 第44回熊本市青少年健全育成大会 性感染症について
 - P4. 校区青少協合同イベント支援 校区青少年健全育成協議会運営費補助金

●市青少協のシンボルマーク このマークは寒い冬に芽生え、太陽に向かって伸びる麦のように、青少年がすくすく伸びてほしい、また伸ばしたいという願いが込められています。

こどもたちと門松作りをしました

秋津校区青少年健全育成協議会 会長 島崎 克也

校区の特色を活かした活動をしている秋津校区青少協では、今年度門松作りをしました。横井小楠先生の記念館・四時軒があり、昔をしのばせる田園風景の秋津校区です。歴史的史跡もたくさんある秋津校区ですが、最近のこどもたちにとっては、お正月の風物詩である門松も何か遠い存在になってきたように感じていたので、小学校校門に一对の門松を作り、こどもたちに親しんでもらうことにしました。



校長先生にご挨拶したところ、是非こどもたちも一緒に作らせてほしいと、ご快諾いただきました。当日は、6年生3クラスが全員参加で門松作りを楽しんでくれました。クラスごとに作業を分け、それぞれのクラスの作業をクラス全員で仲良くしてくれました。外側の竹を編むクラス。編まれた竹を使って形を造るクラス。出来上がった門松の中に飾り付けをするクラス。熟練の地域の方のご指導のもと、こどもたちや先生方、青少協役員皆で仲良く・楽しい門松作りをすることができました。

これからも、こどもたちを中心に、明るく・元気に・楽しく活動していきたいと思ひます。



五色百人一首大会を開催しました

龍田校区青少年健全育成協議会 会長 新道 欣也

熊本市青少協では、複数校区青少協が連携して開催する活動に対して助成金の交付を実施しています。龍田校区も昨年度から近隣3校区青少協(龍田・弓削・龍田西)と共催行事として、五色百人一首大会を企画開催しています。補助金は初年度だけでしたが、百人一首のセットを購入していたので、今年度は経費負担も少なく済みました。



こどもたちはそれぞれの校区小学校で練習し、希望者が参加しました。当日は龍田まちづくりセンターホールを会場として、校区青少協及びPTAが会場設営、受付、進行、表彰式まで連携して無事終わることができました。校区間の交流も役員だけでなく、参加者であるこどもたちも大会を通して交流ができました。

こどもたちそのものが地域を支える「未来」です。今後とも引き続きこどもたちを真ん中に地域のつながりを大切に、世代を超えて活動してまいります。



第44回 熊本市青少年健全育成大会

令和7年(2025年)11月19日(水)
市民会館シアーズホーム夢ホール

「子どもの笑顔があふれる街に！知り合うことから始めよう」を大会テーマに掲げ、熊本市長感謝状贈呈、熊本市青少年善行表彰、講演会などを行いました。



熊本市長感謝状贈呈



各校区にある青少年健全育成協議会で会長職を10年務められた方に感謝状が贈られました。

対象者

- 原 亨 様 (春 竹)
- 山本 俊一郎 様 (託麻西)
- 長 廣 鉄也 様 (高 橋)
- 米 村 達成 様 (田迎西)

熊本市青少年善行表彰

熊本市では、多くの青少年に善行の「輪」が広がることを願い、模範となる青少年善行者・団体を表彰しており、熊本市青少年健全育成大会にて表彰式が行われました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。



受賞者	善行内容
潮崎 海音、潮崎 海心 村上 桜菜、宮本 葵	令和7年6月、倒れている方を見つけ救助を要請するとともに、止血処置を行った。
後藤 拓也	令和6年11月、帰宅途中に落ちていた財布を発見し、交番に届け出た。
田端 真穂 野末 依桜里	令和7年5月、通学途中に動けずに困っていた支援学校の生徒を見つけ、学校に連絡して保護者が迎えに来るまで付き添った。
稲田 真莉乃	12年5か月にわたり、子ども会活動でジュニア・リーダー、ユース・リーダーとして尽力し、イベントの企画・運営や後輩の育成に大きく貢献した。
藤田 吏音	3年7か月にわたり、歩行が困難で外出が難しかった方に寄り添い、継続的な交流を通じて励まし続けた。

オープニングアクト

～ 平成音楽大学 ～

平成音楽大学・管弦打楽コース専攻生の中から、金管アンサンブル5名の皆様に、Queenメドレーや「魔女の宅急便」メドレーなどを披露していただきました。

迫力ある演奏から心温まるメロディまで幅広い表現が魅力的で、音楽が持つ力を改めて感じることができました。



講演会

『被爆の実相を学び伝えることの大切さ、平和について学ぶ意味』

「熊本被爆二世・三世の会」の会長であり、「核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生平和大使派遣委員会」の副代表も務められている青木栄氏にご講演いただきました。

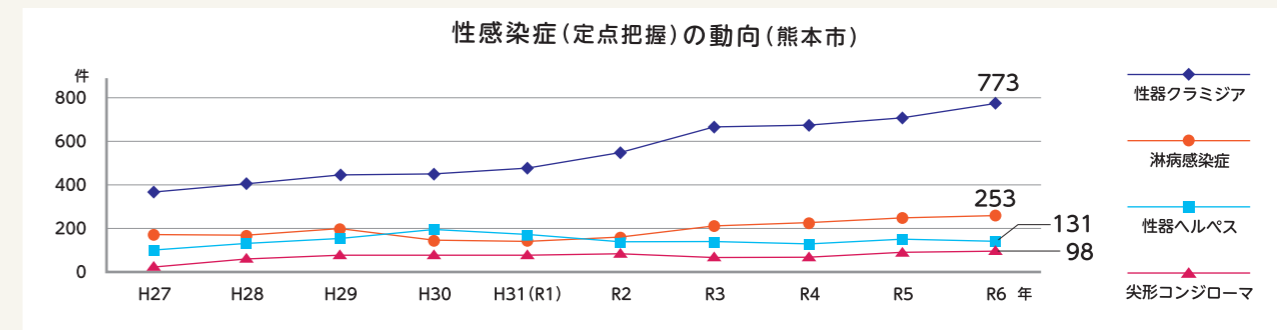
戦争の恐ろしさだけでなく、被爆者が体験したことを後世に語り継いでいくことの重要性など、とても有意義なお話をたくさん聞くことができました。



性感染症について自分のこととして知っておこう

ネット社会の中で、子どもたちも様々な情報にさらされ危険なものにも繋がっています。人と人が直接触れあう機会も増え、それによる性感染症について大人も子どもも正しく知っておくことが必要です。性感染症は粘膜、精液、膣液、唾液、皮膚などに含まれる病原体が人から人へ移って感染が広がるもので、性風俗店に限らず、SNSによる出会い、パートナーとの性行為、性暴力などが感染の機会となります。クラミジア、淋菌、梅毒スピロヘータ、ヘルペスウイルス、HPV(子宮頸がんや中咽頭がん、尖圭コンジローマなどの原因となるウイルス)、HIV(エイズの原因となるウイルス)などが含まれ、熊本市感染症予防課の報告では、熊本市内の性感染症の定点報告数は徐々に増加しており、10代の青少年もその中に含まれています。

どの子どもも安全であるという保証はありません。性的な接触の後の感染の不安や医療機関の受診などについて、相談できないことも多いのが現状です。治療の機会を失い感染が持続することで、将来の重大な病気や不妊、母子感染にもつながります。全国の保健所での無料・匿名の血液検査やインターネットで検査セットを購入する方法もありますし、感染が判明した場合は速やかに医療機関を受診しパートナーとともに治療に進むことが大切です。



出典：感染症発生動向調査事業